

じゃらん観光国内宿泊旅行調査 2024 【都道府県魅力度ランキング編】 総合満足度1位は鹿児島県、食や温泉が人気の要因 食・お土産部門は石川県が1位を獲得



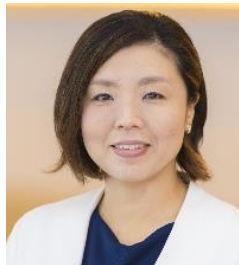
株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の観光に関する調査・研究、地域振興機関『じゃらんリサーチセンター』（JRC、センター長：沢登 次彦）は、全国1万5,520人の宿泊旅行者を対象に「じゃらん観光国内宿泊旅行調査 2024」を実施しました。この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う国内旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）実態を調べるものです。2023年度（2023年4月～2024年3月）の主な結果は以下の通りです。

【主な結果】

地元ならではの おいしい食べ物があった		魅力のある特産品や 土産物があった		魅力的な 宿泊施設があった		地元の人の ホスピタリティを感じた	
1位	石川県	1位	石川県	1位	大分県	1位	沖縄県
2位	福岡県	2位	沖縄県	1位	沖縄県	2位	宮崎県
3位	鹿児島県	3位	北海道	3位	鹿児島県	3位	岩手県

子供が楽しめるスポット や施設・体験があった		若者が楽しめるスポット や施設・体験があった		大人が楽しめるスポット や施設・体験があった		現地で良い 観光情報を入手できた	
1位	千葉県	1位	千葉県	1位	千葉県	1位	沖縄県
2位	沖縄県	2位	沖縄県	2位	沖縄県	2位	宮崎県
3位	和歌山県	3位	大阪府	3位	長崎県	3位	奈良県

ご当地ならではの 体験・アクティビティが 楽しめた		総合満足度	
1位	沖縄県	1位	鹿児島県
2位	徳島県	2位	愛媛県
3位	宮崎県	3位	石川県



JRC 主席研究員
森戸 香奈子

《解説》国内宿泊旅行で満足度の高い観光地とは？

総合満足度1位は鹿児島県が獲得しました。テーマ別ランキングでもトップ10に多くランクインしています。シニア層を中心に夫婦旅行などで多く訪れているようです。コロナからの本格的な観光回復の年ではありましたが、円安の影響もあり海外旅行が敬遠される中、首都圏や関西圏から飛行機で訪れることができるエリアの評価が高いようです。また2024年1月には能登半島地震があった石川県ですが、食やお土産では上位を獲得し、2023年度は総合満足度で3位と、高い評価を得ています。アクセスの良さや知名度から有名都市や観光地を訪れる人は多いですが、満足度の軸で見るとその顔ぶれも多彩です。訪日客も増える中、国内宿泊旅行で満足のいく観光地とはどのような地域か、引き続き注目していきたいと思います。

本件に関する
お問い合わせ先

株式会社リクルート コーポレートコミュニケーション推進室
阿波賀 藍 TEL：080-4342-2568 E-mail：ai_awaga@r.recruit.co.jp

- ◎調査方法 インターネットによる調査
 ※2023年度から回答デバイスの制限緩和による調査画面等の仕様、および
 ウェイトバック集計の割り付け等を一部変更したため、時系列結果は掲載していない

■1次調査

- ①調査目的 全国の国内宿泊旅行実施者を抽出することに加え、
 性・年代別の宿泊旅行実施率を知るために実施した
- ②調査時期 2024年4月1日（月）～2024年4月19日（金）
- ③調査対象 全国18～79歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
- ④配信数 70万3,438件
- ⑤調査内容 2023年度（2023年4月～2024年3月）1年間の国内宿泊旅行
 （出張・帰省・修学旅行などを除く）実態
- ⑥回収数 9万2,929件（回収率13.2%）
- ⑦集計対象者 2万件
 ※2次調査において都道府県別、性・年代別の割り付けに合った回収が得られるように配信した
- ・配信数と割り付けについて
 2次調査のセル別目標回収数は、「令和2年 国勢調査」の都道府県別、
 性・年代別の人口におおむね従うように47都道府県を8ランクに分け
 サンプル数を割り付けて配信した
 ランクごとに7:6:5:4:3:2:1:0.8の割合で、合計約1万5,400件の回収を目標とした
 - ・2次調査の配信数について
 ウェイトバック値のバランスをなるべくそろえるために、
 県別に均等割り付けではなく、ランクを設けて割り付けを行った上で、
 1次調査および追加調査の旅行実施者4万5,627件を都道府県ごとに分配し、
 サンプル数を割り付けて配信した
 ※回収された9万2,929件のうち都道府県別、性・年代別に割り付けを行い2万件を抽出
 性・年代別宿泊旅行実施率を算出

■2次調査

- ①調査目的 全国の国内宿泊旅行実施者に対して、国内宿泊旅行の内容を知るために実施した
- ②調査時期 2024年4月8日（月）～2024年4月19日（金）
- ③調査対象 4万5,916件（うち、同居家族モニター289件）
- ・1次調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人：4万5,627件
 - ・追加調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人のうち、
 調査協力が得られた60歳以上の家族本人：289件
 ※調査回収難度が高い60歳以上の回収数を増やすために追加調査を実施した
 追加調査は株式会社マクロミルの登録モニターのうち60歳以上の家族と同居しているモニターを対象として、
 該当家族が同席する上で回答という条件で実施した
 （回収数10,000件<配信数16万7,020件 回収率6.0%>、2次調査対象者数289件）
- ④配信数 2万7,202件（うち、同居家族モニター9件）
 ※配信数は対象者の中から都道府県別、性・年代別の割り付けに合わせてランダムに抽出した
- ⑤調査内容 昨年度1年間に実施した全ての国内宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の
 行き先と回数について、また一人最大3件までの個別国内宿泊旅行について、
 具体的な内容を調査した
- ⑥回収数 1万5,555件（回収率57.2%）
- ⑦有効回答数 1万5,520件（うち、同居家族モニター3件）
 （旅行件数ベース2万9,948件）

<満足度ランキングの算出方法> ※集計は各都道府県への宿泊旅行件数がベース

- ①訪問した旅行先の総合満足度、項目別満足度について「とても満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満」「とても不満」の5段階から選択。②一部、「子供が楽しめるスポットや施設・体験があった」「若者が楽しめるスポットや施設・体験があった」「大人が楽しめるスポットや施設・体験があった」については、「あなたや同行者は該当しない」を含めた6段階から選択
- ③「とても満足」「やや満足」計の割合が高い順にランキング

<コメントの回答方法> 「とても満足」「やや満足」と回答した設問に任意でコメント記入

※対象設問：「地元ならではのおいしい食べ物があった」「魅力のある特産品や土産物があった」「魅力的な宿泊施設があった」「地元の人のホスピタリティを感じた」「子供が楽しめるスポットや施設・体験があった」「若者が楽しめるスポットや施設・体験があった」「大人が楽しめるスポットや施設・体験があった」「現地で良い観光情報を入手できた」「ご当地ならではの体験・アクティビティが楽しめた」

■ 地元ならではのおいしい食べ物があった

1位：石川県、2位：福岡県、3位：鹿児島県

海鮮、郷土料理、肉類、スイーツなど
トップ3はバラエティ豊かな選択肢が強い

石川県が1位を獲得。「のどぐろ」や「かに」「寿司」などの海鮮だけでなく、「金沢おでん」「治部煮」などの郷土料理や「能登牛」「加賀牛」など多様な顔ぶれ。2位の福岡県は「もつ鍋」「ラーメン」を挙げる人が多数。「ごまさば」「海鮮」なども挙げるが、「水炊き」「ごぼ天うどん」などメニュー名が多く挙げられている。3位の鹿児島県は「とんかつ」や「しゃぶしゃぶ」などの黒豚料理のほか、「鶏飯」などの郷土料理や「しろくま」の名前も。

(単位：%)

2023年度 順位	
全体平均	67.5
1位 石川県	83.1
2位 福岡県	80.3
3位 鹿児島県	79.6
4位 高知県	78.1
5位 宮崎県	77.8
6位 宮城県	77.6
7位 広島県	77.3
7位 大分県	77.3
9位 沖縄県	76.9
10位 北海道	76.4

■ 魅力のある特産品や土産物があった

1位：石川県、2位：沖縄県、3位：北海道

菓子類を挙げる人が多くを占める中で
石川県や沖縄県は工芸品も人気

「地元ならではのおいしい食べ物」に続き石川県が1位を獲得。最も多く挙げられたのは「金箔製品」。ほか「日本酒」「海産物」「加賀棒茶」などが続く。2位の沖縄県は「ちんすこう」「紅芋タルト」「サーターアンダギー」などの菓子類、「シーサー」や「琉球ガラス」などの工芸品も多く挙がる。3位の北海道は有名菓子類やスイーツ、「かに」「昆布」などの海産物、「メロン」「じゃがいも」など食品類が圧倒的に強い。

(単位：%)

2023年度 順位	
全体平均	55.7
1位 石川県	68.3
2位 沖縄県	67.6
3位 北海道	65.4
4位 福岡県	64.6
5位 宮城県	64.4
6位 長崎県	64.2
7位 広島県	64.1
8位 鹿児島県	63.7
9位 京都府	62.7
10位 徳島県	61.4

■ 魅力的な宿泊施設があった

1位：大分県、沖縄県、3位：鹿児島県

有名温泉地やリゾートホテルなどを
擁する地域が上位にランクイン

1位の大分県は有名温泉旅館やホテル名、由布院温泉や別府温泉郷など温泉地名、沖縄県は個別のリゾートホテル名が多く挙がる。3位の鹿児島県も、指宿温泉や霧島温泉の有名宿泊施設の名前が挙がり、4位の千葉県はテーマパークや近隣のリゾートホテル、5位の秋田県は温泉地の旅館などが人気。

(単位：%)

2023年度 順位	
全体平均	61.0
1位 大分県	73.1
1位 沖縄県	73.1
3位 鹿児島県	69.2
4位 千葉県	69.1
5位 秋田県	67.6
6位 栃木県	66.9
7位 和歌山県	66.5
8位 長崎県	66.3
9位 佐賀県	66.1
10位 北海道	65.3

■ 地元の人のホスピタリティを感じた

1位：沖縄県、2位：宮崎県、3位：岩手県

宿や飲食店などのホスピタリティの高さ以外にも
地元の人々の優しさや飾らない雰囲気が印象に残る

1位の沖縄県は、宿泊施設などの従業員の対応、マリンアクティビティや体験施設でのサービス、お祭り、タクシートの運転手や居酒屋の店員の対応の良さ、また、道行く人が親切といった声が多い。2位の宮崎県、3位の岩手県も同様に宿や居酒屋の対応を挙げる人が多いが、方言が心地よいという声も。

(単位：%)

2023年度 順位	
全体平均	35.1
1位 沖縄県	54.6
2位 宮崎県	44.6
3位 岩手県	43.0
4位 青森県	42.1
5位 北海道	41.8
6位 鹿児島県	41.7
7位 石川県	41.4
8位 熊本県	40.7
9位 秋田県	40.5
10位 高知県	39.5

■ 子供が楽しめるスポットや施設・体験があった

1位：千葉県、2位：沖縄県、3位：和歌山県

有名テーマパークが多く挙がる中で
博物館や温泉巡りも人気

1位の千葉県は有名テーマパークの名前が数多く挙がる。2位の沖縄県は水族館やビーチ、テーマパークに加えてホテルそのものの名前も多い。3位の和歌山県はテーマパークや博物館を挙げる人が多い。8位の北海道は新たにオープンしたボールパークの名前も。トップ10に入るほとんどの県は人気のテーマパーク名が挙がるが、古くからある博物館や、大分県の「地獄めぐり」、埼玉県の「ライン下り」など、その地域ならではのアクティビティも多く挙がっている。

(単位：%)

2023年度 順位	
全体平均	34.9
1位 千葉県	59.0
2位 沖縄県	47.8
3位 和歌山県	46.5
4位 大阪府	44.3
5位 大分県	40.6
6位 長崎県	40.5
7位 三重県	37.9
8位 北海道	37.0
9位 福井県	36.6
10位 栃木県	36.2
10位 埼玉県	36.2

■ 若者が楽しめるスポットや施設・体験があった

1位：千葉県、2位：沖縄県、3位：大阪府

テーマパークや水族館、名所旧跡などの観光地に加え
その地域ならではのまち歩きスポットも人気

1位の千葉県は人気テーマパーク以外にショッピングモールやアウトレット、コンサート会場などが挙がる。2位の沖縄県はマリンスポーツ、カフェや買い物スポット、国際通りや水族館など。3位の大阪府もテーマパークが多いが、ショッピングエリアやお笑いの劇場、野球場や「大阪城」、「通天閣」や「道頓堀」などの観光スポットが挙がる。

(単位：%)

2023年度 順位	
全体平均	37.9
1位 千葉県	58.0
2位 沖縄県	55.3
3位 大阪府	52.5
4位 福岡県	43.7
5位 北海道	40.4
6位 東京都	39.5
7位 長崎県	39.4
8位 神奈川県	39.3
9位 大分県	39.0
10位 広島県	38.0

■ 大人が楽しめるスポットや施設・体験があった

1位：千葉県、2位：沖縄県、3位：長崎県

千葉県が僅差で1位を獲得。2位以下では
島めぐりや歴史観光スポット、美術館などが人気

1位の千葉県はテーマパークや水族館、温泉・スパや海、キャンプなどが人気。2位の沖縄県は水族館、ビーチ、居酒屋、島めぐりなど。3位の長崎県はテーマパークに次いで軍艦島、ほか温泉や庭園、「眼鏡橋」などの観光スポットが挙がる。4位の徳島県は美術館、5位の石川県は「兼六園」や「近江町市場」など。

(単位：%)

2023年度 順位	
全体平均	52.7
1位 千葉県	65.3
2位 沖縄県	64.8
3位 長崎県	58.8
4位 徳島県	58.3
5位 石川県	58.1
6位 広島県	57.3
7位 大阪府	57.1
8位 京都府	56.6
9位 神奈川県	56.1
10位 三重県	55.8

■ 現地で良い観光情報を入手できた

1位：沖縄県、2位：宮崎県、3位：奈良県

現地での情報源やSNS、人を介した情報収集が主流
旬でタイムリーな情報やお得な情報が求められている

ホテルや案内所、パンフレットなど現地の着地情報源に加えて、SNSやインターネットサイト、またタクシーの運転手や地元住民など人からの情報も評価が高い。具体的な情報については、ニューオープンや安くおいしい飲食店、期間限定のイベントや、またそれに伴う交通規制、お得なクーポン情報などが挙げられている。

(単位：%)

2023年度 順位	
全体平均	35.0
1位 沖縄県	50.3
2位 宮崎県	47.3
3位 奈良県	45.4
4位 鹿児島県	44.8
5位 秋田県	44.1
6位 京都府	42.8
7位 北海道	42.7
8位 石川県	42.5
9位 長崎県	42.0
10位 広島県	39.2

■ ご当地ならではの体験・アクティビティが楽しめた

1位：沖縄県、2位：徳島県、3位：宮崎県

マリンスポーツやスキーなどのアウトドアに加え
温泉や名所旧跡も人気

1位の沖縄県はマリンスポーツやトレッキング、まち歩きなどが人気。2位の徳島県は渦潮の観光船や温泉、美術館などが挙がる。3位の宮崎県はゴルフやサーフィン、神社や高千穂峡などの名所巡りが人気。4位の鹿児島県は屋久島のトレッキングや砂蒸し風呂、温泉など、5位の群馬県は圧倒的に温泉が多いが、スキーも人気。

(単位：%)

2023年度 順位	
全体平均	45.8
1位 沖縄県	64.9
2位 徳島県	55.8
3位 宮崎県	53.2
4位 鹿児島県	53.0
5位 群馬県	52.8
6位 和歌山県	52.5
7位 大分県	52.3
8位 新潟県	52.1
9位 北海道	51.4
10位 長野県	50.6

■ 総合満足度

1位：鹿児島県、2位：愛媛県、3位：石川県

食と温泉が人気の鹿児島が1位
九州、中四国エリアが上位にランクイン

1位は鹿児島県で、92.2%が満足と回答した。鹿児島県はテーマ別ランキングの9つのうち、6つでトップ10にランクイン。食と温泉が特に人気。シニア層や夫婦旅行のシェアが高い傾向があり、同様の傾向は2位の愛媛県にも見られる。3位の石川県は食とお土産が人気で、若い世代に人気がある。

(単位：%)

2023年度 順位	
全体平均	85.8
1位 鹿児島県	92.2
2位 愛媛県	90.5
3位 石川県	90.1
4位 大分県	90.0
5位 徳島県	89.5
6位 長崎県	89.1
7位 京都府	89.0
8位 広島県	88.8
9位 沖縄県	88.6
10位 島根県	88.5

■ <参考> 今後行きたい旅行先ランキング

1位：北海道、2位：沖縄県、3位：京都府

観光地として人気の3道府県がトップ3に
東京都や大阪府など大都市圏が続く

今後行きたいと思う旅行先を3つまで挙げてもらった。1位は北海道で3割を超えて突出。2位は沖縄県、3位に京都府と人気観光地エリア、4位に東京都、5位に大阪府と大都市圏が続く。総合満足度で1位を獲得した鹿児島県が10位にランクイン。

(単位：%)

2023年度 順位	
1位 北海道	31.2
2位 沖縄県	21.8
3位 京都府	11.9
4位 東京都	10.2
5位 大阪府	8.8
6位 福岡県	8.6
7位 長野県	5.8
8位 神奈川県	5.2
9位 静岡県	5.0
10位 石川県	4.9
10位 鹿児島県	4.9

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>